

## ASEAN+3緊急米備蓄（APTERR）協定の概要

### 本体

- ・ 大規模災害等の緊急時に人道的な観点から対処することを目的とした緊急米備蓄を設立。
- ・ 緊急米備蓄は、イヤマーク（申告）備蓄と現物備蓄から構成され、各国は、一定量のイヤマーク（申告）備蓄を行う。
- ・ 各国の拠出により、緊急米備蓄を運営するための基金を設立。
- ・ 理事会及び事務局を設置。

### 附属書1 ASEAN+3各国のイヤマーク数量

日本	25万トン
中国	30万トン
韓国	15万トン
ASEAN各国の合計	8.7万トン

### 附属書2 基金への拠出額

- ・ 総額400万ドル規模の基金を5年間(2013年から2017年)で造成。

日本、中国、韓国	それぞれ100万ドル
ASEAN各国の合計	100万ドル
- ・ 基金が造成されるまでの当初5年間の運営経費を各国が毎年拠出<sup>(注)</sup>。

注：2018年の協定改訂により、当初の5年(2013～2017)に続く5年(2018～2022)についても同額を拠出することとされた、また、2022年以降は5年毎に年次拠出金の額をAPTERR理事会において見直すこととされた。

日本、中国、韓国	それぞれ7万5千ドル
ASEAN各国の合計	7万4千ドル

### 附属書3 理事会への付託事項

実施細則の策定等理事会の役割を規定。